

葛飾区不燃化特区建替え助成にかかる事業計画書

申請者及び工事業者

申請者 氏名			
既存建築物 所有者氏名	申請者と異なる場合のみ記載(委任者氏名)	土地所有者氏名	借地の場合のみ記載
工事業者	除却工事業者	連絡先	
	建設業者(設計者)	連絡先	

申請資格条件

本申請における建替え工事は、販売を目的としたものではありません。

本申請は、木造住宅の耐震化支援事業の他、除却、設計・監理、建築工事に係る助成と重複していません。

上記内容を確認の上、チェックボックスにレ点を記載してください。

事業スケジュール

既存建築物除却工事 (解体工事)	令和	年	月	日	着工予定	令和	年	月	日	完了予定
建築本体工事 (新築工事)	令和	年	月	日	着工予定	令和	年	月	日	完了予定

事業経費計画

工事種別	費用 (税込金額)	工事種別	費用 (税込金額)	
既存建築物 除却工事 (解体工事)	千円	建築本体工事 (新築工事)	設計費	千円
			工事監理費	千円
			合計	千円

事業費は千円未満は切り捨てて記載してください。

既存建築物除却計画

所在(地番)	葛飾区	家屋番号	
敷地面積	m ²	建築面積	m ²
延床面積	(うち住宅部分面積 m ²)	建物用途	住宅・共同住宅・その他()
建物階数	地上 階/地下 階	構造	木造・木造モルタル造・軽量鉄骨造 その他()
建築年月日	年 月 日	建築後経過年月	年 ヶ月

面積は小数点第三位以下を切り捨てて、小数点第二位まで記載してください。

建築本体工事計画

敷地面積	m ²	建築面積	m ²
延床面積	(うち住宅部分面積 m ²)	建物用途	住宅・共同住宅・その他()
耐火種別	耐火・準耐火		

面積は小数点第三位以下を切り捨てて、小数点第二位まで記載してください。

【記入例】

葛飾区不燃化特区建替え助成にかかる事業計画書

申請者及び工事業者

申請者氏名	葛飾 太郎		
既存建築物所有者氏名	申請者と異なる場合のみ記載(委任者氏名)	土地所有者氏名	借地の場合のみ記載
工事業者	除却工事業者	連絡先	03-0000-0000
	建設業者(設計者)	連絡先	同上

申請資格条件

<input checked="" type="checkbox"/> 本申請における建替え工事は、販売を目的としたものではありません。
<input checked="" type="checkbox"/> 本申請は、木造住宅の耐震化支援事業の他、除却、設計・監理、建築工事に係る助成と重複していません。

上記内容を確認の上、チェックボックスにレ点を記載してください。

事業スケジュール

既存建築物除却工事(解体工事)	令和〇〇年 〇月 〇日着工予定	令和〇〇年 〇月 〇日完了予定
建築本体工事(新築工事)	令和〇〇年 〇月 〇日着工予定	令和〇〇年 〇月 〇日完了予定

事業経費計画

工事種別	費用(税込金額)	工事種別	費用(税込金額)
既存建築物除却工事(解体工事)	建物内の残置物撤去費は除く。	建築本体工事(新築工事)	設計、工事監理に関係のない費用は除く。(瑕疵担保保険業務等)

事業費は千円未満は切り捨てて記載してください。

既存建築物除却計画

所在(地番)	葛飾区 〇〇〇丁目〇〇番	家屋番号	〇〇番〇〇
敷地面積	〇〇. 〇〇 m ²	建築面積	〇〇. 〇〇 m ²
延床面積	〇〇. 〇〇 m ² (うち住宅部分面積〇〇. 〇〇m ²)	建物用途	住宅・共同住宅・その他()
建物階数	地上 〇 階/地下 〇 階	構造	木造 木造モルタル造・軽量鉄骨造 その他()
建築年月日	昭和〇〇年 〇〇月 〇〇日	建築後経過年月	〇〇年 〇ヶ月

面積は小数点第三位以下を切り捨てて、小数点第二位まで記載してください。

建築本体工事計画

敷地面積	〇〇. 〇〇 m ²	建築面積	〇〇. 〇〇 m ²
延床面積	〇〇. 〇〇 m ² (うち住宅部分面積〇〇. 〇〇m ²)	建物用途	住宅・共同住宅・その他()
耐火種別	耐火・準耐火		

面積は小数点第三位以下を切り捨てて、小数点第二位まで記載してください。

令和 年 月 日

葛飾区長 あて

同意書

住 所 _____

氏 名 _____

電話番号 _____

私は、下記の建物、工作物について、 _____ が、除却工事及び建替え工事を行うことに同意します。

記

建物の表示	
所 在	葛飾区 丁目 番地
家屋番号	
構 造	
床面積	m ²

令和 年 月 日

葛飾区長 あて

同意書

住 所 ○○○○○○○○○○○○○○

氏 名 葛飾 次郎

電話番号 ○○-○○○○-○○○○

私は、下記の建物、工作物について、葛飾 太郎が、除却工事及び建替え工事を行うことに同意します。

記

建物全部事項証明書等の内容を記入してください。

建物の表示	
所 在	葛飾区 丁目 番地
家屋番号	
構 造	
床面積	m ²

【例】既存建築物が「長屋」でその専有部分の区分所有権ごとに助成対象とする場合
「葛飾太郎さん」が本助成対象とする専有部分の所有者であり、
「葛飾次郎さん」が既存建築物のうち本助成対象でないほかの専有部分所有者の場合。